

## 西区コミュニティ交流協議会視察研修会を開催

### 1 日 時

平成24年3月15日(木) 8:30~16:00

### 2 研修会場 竹原市町並み保存センター

### 3 研修内容

特定非営利活動(NPO)法人の

「住民目線での地域活性化を図ることを目的としたまちづくりの取組」

### 4 参加人数 69名

### 7 研修概要

(1) NPO 法人ネットワーク竹原 佐渡 泰理事長の講演

「みんなで考えよう!町並み地域の未来。~竹・塩・町並み~」

※竹原は歴史・文化のあるまち

#### ①町並み保存

・町内会等と町並み談議を開催

アンケート実施し、まちづくりについて話し合った。

・補助金を活用し空や家を再生し維持

・アニメ「たまゆら」を松竹とコラボ

まちづくりに生かし、若い人も来るようになった。

・古い町並みを生かし、まちのにぎわいに繋がる様々な行事を実施

短期間の行事では、効が少ない。

長期的な行事「雛めぐり」は多くの人に認知され、観光客が随分増えた。

・日本財団等様々な、助成金・補助金を受け、まちづくりに生かしている。

#### ②塩、竹

・塩田を再生

塩で栄えたまち、塩を作り NPO 法人で販売

今後は地産地消に向けて商品開発も視野に

・荒れた竹林を整備

里山を守るグループと一緒に整備

竹の子を地域ブランドとして育てている。

竹の楽器を子ども達と一緒に作り、楽器の演奏を通して青少年の健全育成に役立  
てている。

### ③NPO 法人の収益

- ・ 会員の会費
- ・ 市の施設の管理を受託
- ・ 塩の販売
- ・ たまゆらのグッズ販売
- ・ 竹の工芸品の販売
- ・ 塩の販売など

### ④今後の課題

町の中で人が暮らすことで地域コミュニティができる。

店舗開設だけでなく暮らしのある町並みを目指したい。

- ・ 保存と観光、条例制定も視野に入れる必要がある。
- ・ 下水が整備されていないので、ハード面の整備も必要不可欠
- ・ 行政との協働、住民参加
- ・ たまゆらとのコラボ、竹原の塩の高品質化の促進
- ・ 現在 NPO 法人の会員は10数名で、人が少ないため理事長も何役もこなしている。組織運営基盤の強化が必要であり、人材育成と若い人の介入が急務



上記のように、まちのにぎわいに繋がる具体的な取り組みをパワーポイントにより詳細に分かり易く説明いただいた。

今後の課題についても説明いただき、人材育成や暮らしのある町並みづくりの必要性を実感した。

### (2) 竹の楽器、町並みの再生や「雛めぐり」など取組事業を見学

